

令和4年度 学校経営方針

小平市立鈴木小学校長 細萱 希彦

【小平市教育振興基本計画】

《教育の目標》

- | | | |
|----------------------------------|-----|------------|
| 1 将来の社会を支えるすべての子どもの「生きる力」をはぐくみます | ～自立 | 小平で基礎を培う～ |
| 2 学校・家庭・地域が互いに育て合い、子どもを支えます | ～共生 | 小平で共に成長する～ |
| 3 市民が支える新たな生涯学習を実現し、次世代に引き継ぎます | ～貢献 | 市民が小平を育てる～ |

公教育としての根拠

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法等の法令
- ・学習指導要領
- ・都・市の教育に関する指針等

鈴木小学校の教育目標

よく考え やさしく 元気な 鈴木の子

保護者・地域の願い

- ・楽しい学校
- ・活力のある学校
- ・安全安心な学校
- ・開かれた学校
- ・子どもが健やかに成長する学校

目指す学校の姿

笑顔あふれる学校

共に成長する学校

郷土を愛する学校

笑顔あふれる学校

児童の感性と発想を大切にして自分や友達のよさを認め合い、全ての人が笑顔になれる学校

共に成長する学校

子どもも大人も共に学び合い、協力し合い、高め合いながら全ての人が共に成長できる学校

郷土を愛する学校

保護者・地域に学校を開き、大人や地域との関わりを通して郷土を深く愛する心を育む学校

学校経営の基本方針

自分で考え 共につくろう 笑顔いっぱい鈴木小

- 「自分で考え」…自ら主体的に考え、判断したことについて、自分で進める力をつけてほしい
「共につくろう」…様々な人の思いや考えを大切にしながら、みんなでつくる力をつけてほしい
「笑顔いっぱい」…他者への感謝の気持ちをもって、みんなの笑顔をもたらす力をつけてほしい

「教育目標」の達成に向けた取組

確かな学力の向上

- 【知識・技能の確実な定着】
- ・個に応じた基礎基本の習熟
- ・学習ルールの定着と意欲の向上
- ・鈴木I、ベーシックIの充実
- ・学年×10分間の家庭学習の徹底
- 【主体的・対話的で深い学びの実践】
- ・根拠を明確にして考えを伝え合う
- ・「学び方を学ぶ」授業改善
- ・学習環境の整備と言語活動の充実

健やかな体の育成

- 【運動の日常化】
- ・体力向上の意欲を高める授業改善
- ・多様な運動の取組の実践
- ・全校一斉の体力向上の推進
- ・休み時間の活用(児童発案)
- 【オリ・パラ教育の推進】
- ・自分も相手も大切に作る心の育成
- ・豊かな国際感覚の育成
- ・障がい者理解 ・パラ競技の体験

豊かな心の育成

- 【人権教育の推進】
- ・あいさつ(先言後礼)の推進
- ・日常的な人権教育の充実
- ・互いの良さを認め合う活動の充実
- 【道徳教育の充実】
- ・各教科等と関連した授業の実践
- ・年3回いじめに関する授業の実施
- ・認め合い、協力し合う心の醸成

「学校経営の基本方針」の具現化に向けた特色ある取組

自立の促進

特別活動の充実

- ・児童発案の活動の推進
- ・学級活動の充実
- ・たてわり班活動の充実

安全教育の充実

- ・自ら考え命を守る能力の育成
- ・他者や社会の安全に貢献できる資質や能力の育成
- ・防災組織・体制作りの推進

郷土愛の醸成

保護者・地域との連携強化

- ・ホームページ等で積極的な発信
- ・学校アンケートの効果的な活用
- ・学校支援組織の活動への積極的な参加
- ・避難所運営委員会との連携

地域人材や関係機関の活用

- ・地域支援コーディネーターと連携した地域人材の活用
- ・関係機関との連携

特色ある教育活動

- 自分の学習を自らつくり学び続ける
- 児童発案の活動を全学年で実施
- 学級学年や学校は自分たちでつくる
- 上級生へのあこがれて下級生を育成

- | | | |
|-------------------|------------------------|----------------|
| ・国指定鈴木遺跡資料館との連携 | ・あおぞら福祉センターとの連携 | ・特別支援教育理解授業の実施 |
| ・ICT機器を活用した授業 | ・学校図書館の利活用の実践 | ・食育の充実 |
| ・働き方改革推進で組織の生産性向上 | ・コミュニティ・スクール準備委員会の立ち上げ | |

教師の資質向上・組織貢献

- ◇組織的な人材育成・・・「校内留学」「相互授業参観」「担任交換授業」「わきあい研修」の充実
- ◇組織的な学校運営・・・主幹教諭、主任教諭による人材育成と確実な引継ぎに資する組織編制
- ◇学校予算の適正な編成と執行・・・全教職員による「意図的・計画的な予算配当計画」「円滑で適切な予算執行」
- ◇校務PCの活用と校務の効率化・・・「効率的な分掌組織の編成」「個人情報適切な管理」「ペーパーレス」